

2026年3月27日

各位

株式会社北洋銀行

『スパークス札幌・北海道GX投資事業有限責任組合』への出資について

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、スパークス・グループ株式会社(代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平)が無限責任組合員を務める「スパークス札幌・北海道GX投資事業有限責任組合」(以下、「本ファンド」)と出資契約を締結しました。

北海道は全国有数の豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを有しており、そのポテンシャルを生かすことで、日本の再生可能エネルギー導入促進を支えるとともに、カーボンニュートラル社会の実現による地域経済の成長発展が期待されています。

本ファンドは、再生可能エネルギーの他、蓄電所、水素事業、データセンターなど、北海道内のGXプロジェクトへの投資を行い、北海道に持続的な裨益を生み出しながら、日本および世界のGXの推進に貢献することを目指しています。

当行は、本ファンドへの出資を通じて、北海道における GX 推進と地域経済の持続的成長に貢献してまいります。

記

【ファンド概要】

ファンド名	スパークス札幌・北海道GX投資事業有限責任組合 「スパークス札幌・北海道GXファンド」
投資対象	主に Team Sapporo-Hokkaido※の8つの重点領域および再生可能エネルギーに関する北海道内のGXプロジェクト (1)洋上風力 (2)次世代半導体 (3)データセンター (4)水素 (5)SAF (6)蓄電池 (7)海底直流送電 (8)電気および水素運搬船
運用代理人	スパークス・アセット・トラスト&マネジメント株式会社
ファンド規模	目標 100 億円
出資募集期限	2026 年 12 月 30 日
運用期間	2036 年 2 月 1 日迄

※ 北海道が持つ国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限活用し、GX 産業の集積と、それを支える金融機能の強化集積を両輪で進め、日本の再生可能エネルギーの供給基地、世界中から GX に関する資金・人材・情報が集積する、アジア・世界の「金融センター」の実現をめざすため、21機関により構成された産学官金のコンソーシアム。(2023年6月23日設立)

以上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。